

豊橋市民病院だより

青竹

NO.
44

2010.4.1

- 2 特集1 患者総合支援センターを開設します
- 4 特集2 電子カルテシステムを導入します
- 8 新任医師の紹介
- 9 看護局から・事務局から
- 10 診療技術局から
- 11 くすり箱
- 12 ご意見箱～院長からご返事します～
- 15 あとがき・お知らせ

編集：病院広報紙編集委員会
委員長 鈴木 伸行



病棟屋上より

豊橋市民病院

豊橋市民病院では患者さんが安心して治療を受けていただき、また地域で快適な生活を送っていただけるよう、患者総合支援センターを開設してお手伝いをさせていただきます。お気軽にご利用ください。

1.開設日 平成22年4月1日(木)

2.患者総合支援センターの機能

がん相談部門

国はがんの標準的な専門医療を全国どこでも受けられるようにする目的で、「地域がん診療連携拠点病院の整備指針」を出しており、当院は地域のがん医療の中心となる、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、がん相談を行っています。

相談には国立がんセンターがん対策情報センターが主催した研修を修了した相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）を配置し、がん診療、予防・早期発見に関する一般的な情報提供、地域の医療機関の情報収集・情報提供、セカンドオピニオンに関する相談、地域がん医療連携に関する情報収集・情報提供、がん患者さんの療養上の相談支援を行っています。当院に受診される患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたもご利用できます。

患者さんやご家族の方が安心して、がんと向き合い療養生活を送れるように支援していきます。

電話 0532 - 33 - 6290

医療福祉相談部門

病気やケガをした場合、治療や療養の妨げとなる生活上の不安、心配などの心理的・社会的問題が生じることがあります。こうした時に安心して治療に専念し、生活していただけるよう、社会福祉の立場から医療ソーシャルワーカーと一緒に問題を考え、必要に応じて院内のスタッフや地域の医療、保健、福祉などの関係機関と連絡を取り合い問題解決に向けたお手伝いをさせていただきます。

電話 0532 - 33 - 6111 内線1411・1415

女性相談部門

女性は男性と比べ、思春期、成熟期、更年期、老年期とそれぞれのライフステージにおける変化が大きいため、身体面や精神面において色々な症状が現れやすいといわれています。「男性医師には相談しにくい」、「どの科に受診すべきか分からない」、「病気なのか自分では判断できない」などの不安、悩みなどについて女性看護師が相談に応じ、内容によって適切な診療科を選択して円滑な受診ができるよう支援しています。

電話 0532 - 33 - 6232

病診連携室（MCR Medical-Cooperation-Room）/豊橋市医師会設置・運営
地域の医療機関と患者さんの病態にあった治療を効果的に提供できる機能分担、連携体制を作ることが必要です。

かかりつけ医で専門的な検査や治療が必要と判断した場合、病診連携室を通じて当院の診療科の受診予約を事前に取り、患者さんが効率的に受診できるようにしています。

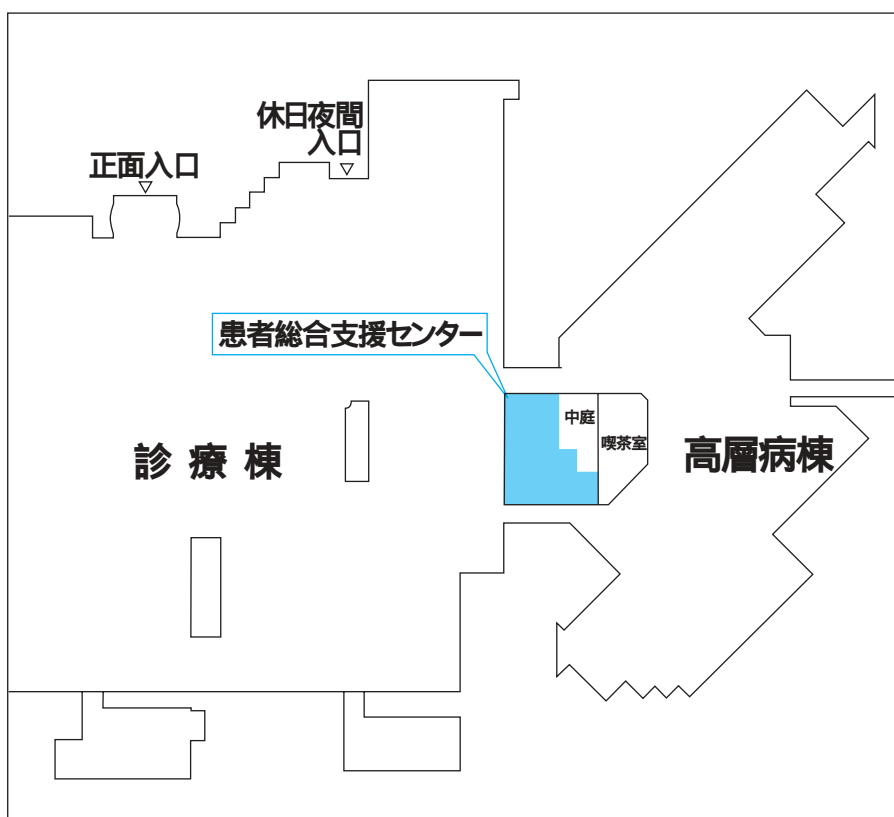
また当院に入院されている患者さんが他の医療機関に転院をする場合、病診連携室を通じて転院申し込みをさせていただきます。

医療情報コーナー

医療に対する疑問は主治医にご相談していただくこととなりますが、市民病院を利用される患者さんや家族の方に対して医療に関する情報を提供するコーナーを設置しました。このコーナーにはリーフレットやパンフレットなどの資料を取り揃え、インターネットで知りたい情報を調べることができるようパソコンも設置しております。



患者総合支援センター



院内平面図

電子カルテシステムの導入に伴い、患者さんの診察受付や診療費等のお支払い方法などが変わります。

【今までと大きく変わる場所】

1. 当日の受診予約のある患者さんも「再診受付機」で受付していただきます。
受付が完了すると、「外来パスポート」(注1)が発行されます。
このことにより、患者さんの来院を確認します。
2. 外来受付では、「外来パスポート」により受付します。
このことにより、医師のコンピュータ端末に患者さんの到着を伝えます。
3. 処方せんは、診察室でお渡しします。
4. 診療費等の計算ができたことを、会計表示板の画面に「受付番号」を表示してお知らせします。
5. 診療費等は、「自動精算機」でお支払いください。
お支払いのない方(公費負担医療の方など)も、診察券を自動精算機の診察券投入口に入れていただきます。
領収書、予約票、くすり引換券(院内処方の場合)が出ます。
6. 紹介状をお持ちの方の受付窓口(紹介状受付)を設けます。

(注1)

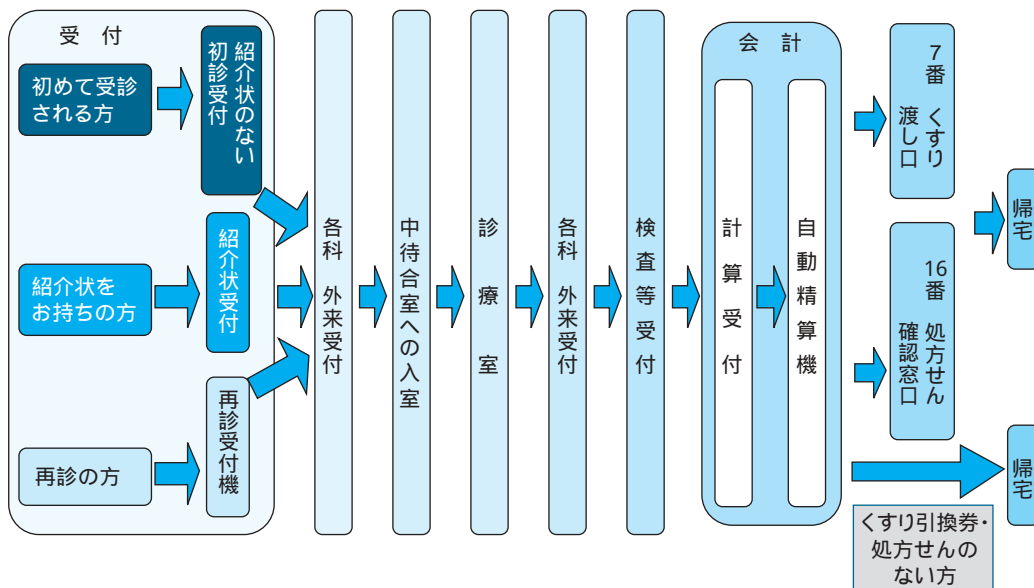
- ・「外来パスポート」は、「受付番号」「当日の予約時間」「診療科」「診療内容」「行き先・診察室」などの案内が記載された受付用紙です。
- ・お帰りの際に会計窓口へ提出していただきますので大切にお持ちください。

【お願い】

診察券のある方は、必ず持ってご来院ください。
患者さんの本人確認、再診受付機、自動精算機では診察券が必要です。
診察券を忘れた方は、初診受付へお申し出ください。
保険証、公費受給者証などをご持参ください。また、変更があった場合は受付へお申し出ください。

受診時の流れ

受付 各科外来受付 中待合室への入室 診察室
各科外来受付 検査等受付 会計 薬局の窓口 の順になります。



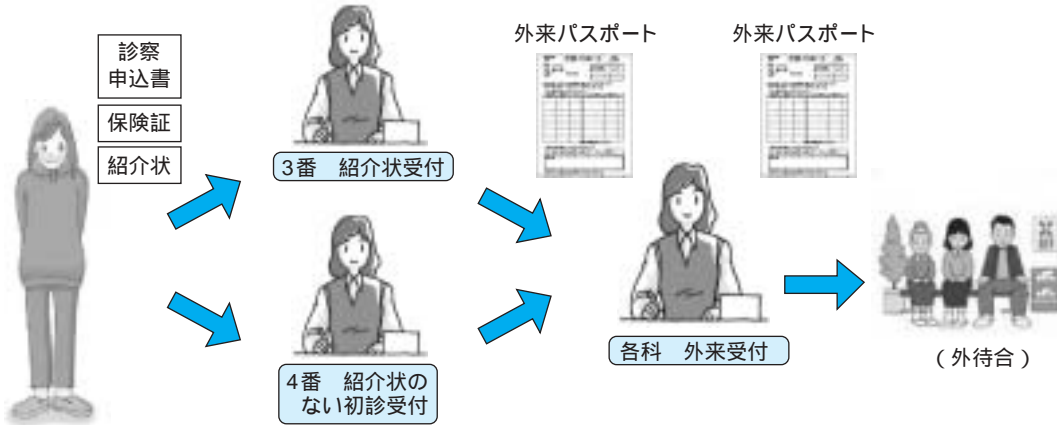
■ 受付

受付は、大きく

初めて受診される方(注2)、紹介状をお持ちの方の受付の場合
再診の方の受付の場合

の2つに分かれます。

【 初めて受診される方、紹介状をお持ちの方の受付の場合】



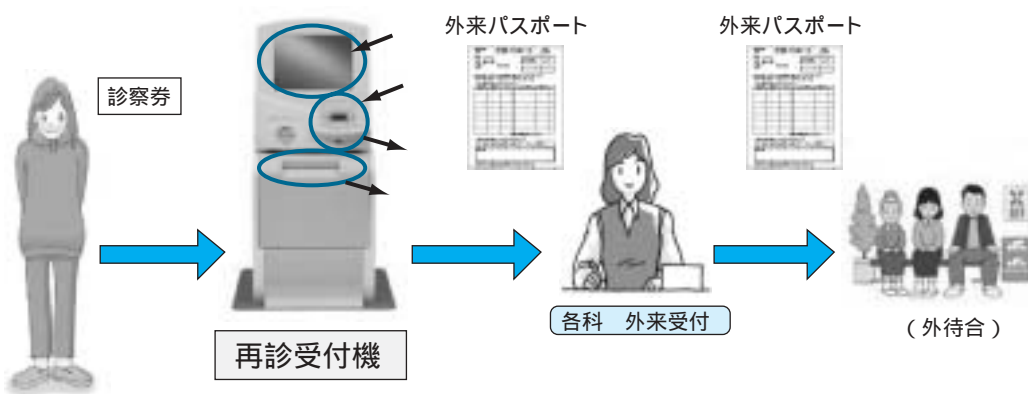
- (1) 初めて受診される方は、初診受付に診察申込書、保険証を提出してください。
紹介状をお持ちの方は、紹介状受付に紹介状、保険証等を提出してください。受付後、紹介状は一旦お返しします。
- (2) 各受付で「外来パスポート」をお渡しします。
- (3) 「外来パスポート」を外来受付に提出してください。
予約のない方には、診察室、診察予定時間を記入してお返しします。
- (4) 「外来パスポート」を持って外待合でお待ちください。

(注2)

「初めて受診される方」とは、

- ・豊橋市民病院を初めて受診される方 ・初めての診療科を受診される方
 - ・初めての診療科ではないが前回受診日から2年以上経過している方
- のいずれかに該当される方をいいます。

【 再診の方の受付の場合】



- (1) 再診受付機で受付します。
診察券を診察券投入口に入れてください。
【当日の予約がある方】予約した診療科が表示されます。
【当日の予約がない方】受診希望の診療科を選びます。
確認ボタンを押すと「外来パスポート」が印刷されます。
診察券が出てきます。
これにより、患者さんの来院を確認します。
受付番号で、会計の案内をします。
- (2) 「外来パスポート」を外来受付に提出してください。
予約のない方には、診察室、診察予定時間を記入してお返しします。
必要に応じて、保険証、公費受給者証(お持ちの方)の確認をさせていただきます。
これにより、医師のコンピュータ端末に患者さんの到着を伝えます。
- (3) 「外来パスポート」を持って外待合でお待ちください。

中待合室への入室(これ以降は、初診の方・再診の方に共通の流れです)

豊橋市民病院 外来パスポート			
患者番号	受付番号 1234		
フリガナ			
氏名	豊橋 花子		
生年月日	年齢		
性別			
予約時間	診療科	内容	行き先・診察室
9:30	消化器内科	診察	外来受付 第3診察室

診察のご案内			
診療科	診察室	医師	予約時間帯
消化器内科	第3診察室	山田	9:30

待合表示システム

- (1) 患者さんは、外来パスポートに記載してある「予約時間」が「待合表示システム」に表示されましたら中待合室にお入りください。
- (2) 医師がインターホンで名前をお呼びしましたら、診察室へお入りください。

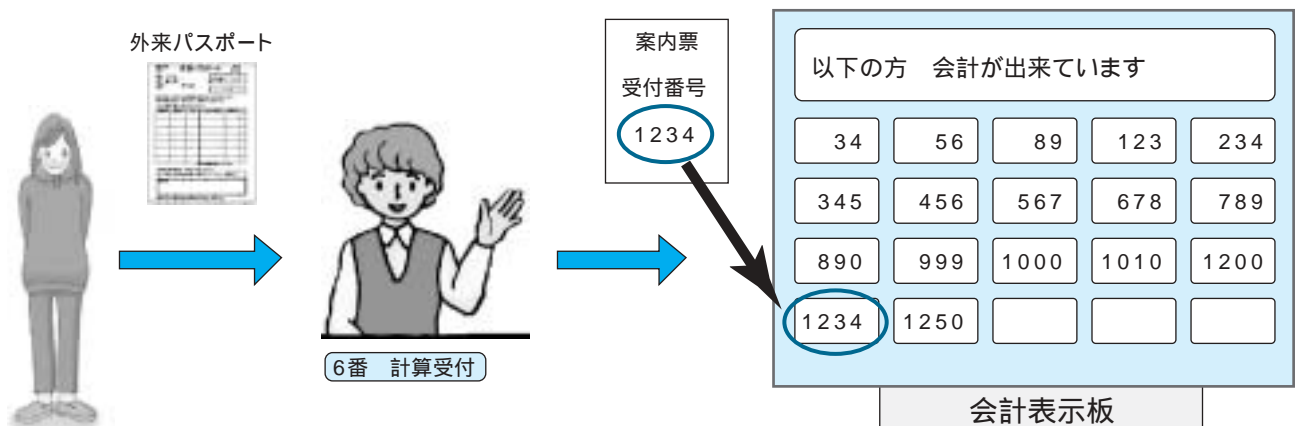
診察室

- (1) 紹介状をお持ちの方は、医師にお出してください。
- (2) 医師は、患者さんを診察し症状にあわせ、コンピュータ端末で検査、処方などの指示を行います。
- (3) 次回の診察予約は、診察室等でコンピュータ端末を利用してお取りします。
- (4) 診察が終わりましたら、指示内容が記載された「案内票」と「処方せん」をお渡しします。
案内票は、診療科ごとに印刷されます。
案内票には、外来パスポートの「受付番号」が印刷されています。
- (5) 受診後は、外来受付へお寄り下さい。

検査等受付

- (1) 医師の指示が記載してある「案内票」、「診察券」を持って、それぞれの検査受付へお回りください。
- (2) 前回受診時に指示された検査などを行う場合は、前回受診時の案内票をお持ちください。

会計

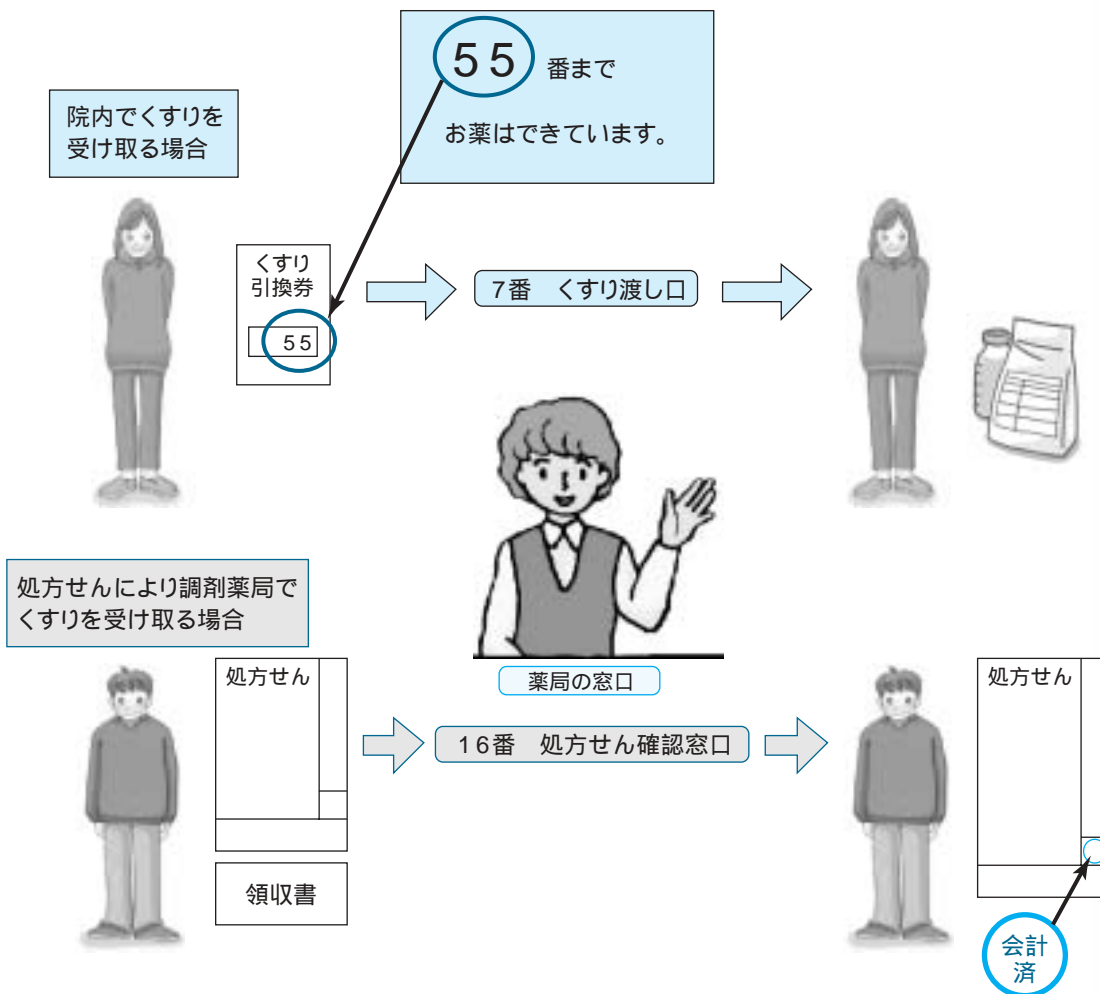


- (1) 診察、検査などがすべて終わったら、「外来パスポート」を6番 計算受付に提出してください。
- (2) 計算ができると、「会計表示板」の画面に、受付番号(案内票に印字してあります)を表示してお知らせします。
- (3) 受付番号が表示されたら、自動精算機でお支払いください。
お支払いのない方(公費負担医療の方など)も診察券を自動精算機の診察券投入口へ入れてください。
領収書・予約票・くすり引換券(院内処方の場合)が出ます。
クレジットカードもご利用いただけます。



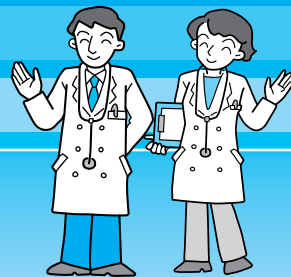
薬局の窓口

- (1) くすり引換券をお持ちの方は、7番「くすり渡し口」で薬をお受け取りください。
- (2) 処方せんをお持ちの方は、領収書といっしょに16番「処方せん確認」窓口にお出しください。
処方せんに会計済の印を押します。



新任医師の 紹介

- 1 所属 2 赴任日 3 前任地 4 趣味
5 その他 自由（抱負、自己PR、家族のこと、最近思うことほか）



New Doctor

長坂 隆治

- 1 移植外科
（平成22年4月1日新設）
- 2 平成22年1月1日
- 3 名古屋第二赤十字病院
- 4 デパートでブラブラすること
- 5 これまで救急医療、一般外科を経た後、15年以上にわたり肝移植・腎移植医療に努めて参りました。今後、三河地域の移植医療の発展に尽力したいと思っています。豊橋には多くのショッピングセンターが隣接しており、単身赴任の身としては、夜な夜なウインドウ・ショッピングに出かけることが日課になりつつあります。私を見かけたときには、お気軽にお声をかけないで、そっとしておいてください。今後ともよろしくお祈いします。



中島 基晶

- 1 麻酔科
- 2 平成22年1月1日
- 3 小牧市民病院
- 4 ゴルフ・バイクツーリング
- 5 高校を卒業するまでは豊橋で過ごしていました。以降は豊橋から離れていたのですが、今回縁あって豊橋市民病院で働くことになりました。前任地で13年ほど過ごしていたため、久しぶりの環境変化に戸惑っていましたが、1日でも早く変化になれるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈いします。



平田 明裕

- 1 一般外科
- 2 平成22年1月1日
- 3 国家公務員共済組合連合会
名城病院
- 4 バトミントン
- 5 豊橋市民病院のように大規模病院で勤務するのは初めてで不安でしたが、職員のチームワーク、連携のよさに感動しています。既にあるいろいろご迷惑をおかけしていると思いますが、頑張りますので、なにとぞご指導のほどよろしくお祈いします。



横田 一樹

- 1 小児外科
- 2 平成22年1月1日
- 3 東京都立府中病院
- 4 野球
- 5 三年振りに東海地方に帰って参りました。豊橋は初めてですが、懐かしいにおいがします。早く三河弁を覚えて、皆様にとけこめるように頑張ります。よろしくお祈いいたします。



濱野 恵美

- 1 産婦人科
- 2 平成22年1月1日
- 3 JA静岡厚生連遠州病院
- 4 バイオリン
- 5 産科・婦人科・生殖医療の三本柱が揃い、しかもそれぞれの症例が豊富な豊橋市民病院では、日々勉強になることばかりです。まだ知識も経験も浅く、皆様にはいろいろご迷惑をおかけしますが、多くのことを吸収していくよう努力して参りますので、今後ともよろしくお祈い申し上げます。



佐々木 智章

- 1 小児科
- 2 平成22年2月1日
- 3 名古屋市立大学病院
- 4 フットサル・テニス・ランニング・パソコン
- 5 研修一年目から市大病院で働き4年目になりました。豊橋で多くの臨床経験が積めることを楽しみにしています。まだまだ右左もわからず、日々忙しく過ごしています。皆様にはご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお祈いいたします。



4月から新人看護師が仲間入りします。

平成22年4月、豊橋市民病院には56名の看護師が就職します。

看護局では患者さんに安全で快適な療養環境を提供するべく、相手の気持ちに配慮し、心のかもった対応ができる看護師を育てたいと考えています。新人看護師は社会人になった責任を感じつつ、不安と期待いっぱいの中、医療人としてのスタートを切ります。最初は先輩看護師とともに患者さんの看護をさせていただきます。



接遇など社会人として必要な知識についての講義や、主任看護師からの看護技術指導を受け配属されます。
一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。

事務局から



平成21年度 寄附物品一覧

昨年度中に下記の寄附物品を受領しました。ありがとうございました。

寄附物品一覧			
件名又は品名	数量	件名又は品名	数量
絵画（秋の山里）	1枚	書（額装：題名 協協）	1枚
パソコン一式（パソコン本体、モニター、プリンター）	1式	褥瘡予防用マットレス	2枚
液晶テレビ	1台	自動電子血圧計	2台
電気ポット	1台	絵画（丘の上の教会）	1枚
皿（陶磁器、猪飼 護 作）	1枚	冷凍庫	1台



絵画（丘の上の教会）



絵画（秋の山里）



書（額装：題名 協協）



診療技術局から

栄養管理室

「NST」について

皆さんはNSTという言葉聞いたことがあるでしょうか。

NSTとは、『Nutrition Support Team』の頭文字をとったもので、「栄養サポートチーム」と呼ばれています。

以前より栄養不良は施される治療の効果や病気の予後に重大な影響を与えることが指摘されていましたが、今まで一部の医師や医療スタッフしか栄養と治療との関連に注目していませんでした。

しかし、入院や通院の患者さんの40%以上に栄養不良により体内での新陳代謝が順調に行われないう報告（当院でも検証されました）が相次ぎ、栄養療法の重要性が広く認識されるようになりました。

【栄養不良とは】

- ・食物の摂取不足
 - ・摂取は十分でも消化・吸収が悪い
 - ・過剰に摂りすぎて栄養バランスが悪い
- などから現れる異常な状態のことです。

【栄養不良が続くと】

- ・病気にかかりやすくなったり、2つ以上の病気になりやすい
 - ・手術や外傷・褥瘡（床ずれ）などの創傷治癒に悪影響をもたらす
 - ・手術後の合併症の増加や入院期間が長期化する
 - ・免疫力低下による感染症の増加・悪化が起こる
 - ・筋力低下による日常生活の質の低下（歩行困難・嚥下障害・誤嚥性肺炎など）がみられる
- などのいろいろな問題が出てきます。そこで
- ・患者さんの栄養状態の解析を行い、栄養管理が必要かどうかを判定する
 - ・適切な栄養管理がなされているかどうかをチェックする
 - ・患者さんにふさわしい栄養管理方法を指導・提言する
 - ・栄養管理に伴う合併症を予防・発見・治療する
 - ・栄養管理上の疑問に答える
 - ・患者さんの早期復帰を助け、QOL（生活の質）を向上させる

ことを主な目的として医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士、理学療法士、管理栄養士などの専門スタッフがチームを組んで治療にあたる（これをチーム医療といいます）NSTが結成されました。

NSTは院長直属で、嚥下ケア、呼吸ケア、口腔ケアのチームを包括していますし、その他褥瘡対策、緩和ケアでもチーム医療を行っております。

主治医の依頼により、各病棟を回診しますので、患者さんやご家族が希望する場合も主治医か看護師にご相談ください。また、ケースによっては外来患者さんにも対応いたします。

当院では平成16年4月からNST活動を開始しました。

今日まで、各病棟を回診し、患者さんの症例の検討を行い、有効な施策を講じるなど、その質の確保と治療効果の向上を図ってまいりました。栄養状態の改善から治療が良い結果に至ったケースが増加し、着実に効果が現れてきております。



病院の薬剤師の仕事について

昔と違って、今は外来患者さんに院外処方をお渡ししていますが、病院の薬剤師はどのような仕事をしているか、ご存じですか？

今回は、病院における薬剤師の仕事について紹介します。

病院薬剤師は、従来と同じように外来患者さんや入院患者さんが服用するお薬を作っている他に、多くの仕事を行っています。

そして、病院の中で使われる「薬」について、安全で効果的に使用されるようにいろいろな面に関わっています。



調剤

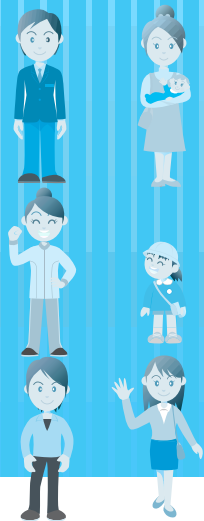


注射薬の混合調製

服薬指導...お薬相談室や外来窓口あるいは病棟で薬の使い方や注意事項などを説明

注射薬の調剤...患者さんごとに1回分ずつ注射薬をセット
その他、製剤、薬品管理、医薬品情報提供、治験業務など

これらの仕事以外にも病院薬剤師はチーム医療として医療安全(医療事故防止の対策)、栄養サポートチーム(栄養状態の改善)、緩和ケアチーム(がんによる痛みの緩和)、感染対策チーム(院内感染の防止)などに参加して、医師、看護師をはじめとした専門の方と協力して、より良い医療を提供しています。



ご意見箱

～ 院長からご返事します～



1. その他

以前にも入院し、お世話になりましたが、以前は朝食のパンが食パンで固く冷たく、いつも残していましたが、今はデニッシュパン、ロールパンなど種類も豊富になり、温かいパンが出されるようになっていました。とてもおいしく食べられるようになりました。

ご返事

ご意見ありがとうございました。このようなご意見をいただきますと、病院に働く者として大変励みになります。当院では常食の方は朝食と夕食でメニューの選択ができ、それぞれ2週間は異なるメニューの食事をお摂りいただけます。朝食はご飯とパンの選択ができ、パンはデニッシュパン、バターロールパン、食パンを温かくしてお出ししております。これも、皆さんのご意見を参考にして改善した結果です。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

2. 療養環境関係

らくのみが汚く洗えていない。うがいの入れ物に前の人の歯磨き粉が残っていたことが何回もあった。
*らくのみ：寝た状態の人に飲料を飲ませる細長い口が付いた容器

ご返事

ご意見ありがとうございました。今回、らくのみとうがいの容器の件で、不快な思いをさせてしまったことについてお詫びいたします。らくのみは、本来ご自分でご用意していただくようお願いしており、緊急時やご用意いただけなかった場合のみ病院のものを使用いただいています。容器は、きちんと洗浄したものを用意していますが、古くなって、汚いと思われるものは新しいものに取り替えてまいります。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

3. 施設関係

保険請求のため、入院証明書をいま少し、スピーディにして貰える様にしていきたい。本来なら、退院時に支払いと同時にいただけるのが本筋では……。入退院を繰り返していると費用の支払いも大変。折角掛けている保険をフル活用したいのは人情。どうぞ、少しでも改善されることを切望します。

ご返事

ご意見ありがとうございました。入院証明書の発行は、入院中に担当医にご相談いただければ、病名と入院中であることの証明は可能です。ただし、退院した後に入院中の治療内容等を記載する入院証明書の請求があった場合は、入院カルテの記載内容の整理と証明書を作成する事務処理期間として、通常、約2週間を要しますが、万一完成していないとかえって迷惑をかけてしまいますので、3週間近くの時間を頂いております。ご希望に添えるよう、できるだけ早く発行できるよう努力していきたいと思っております。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

4. 窓口関係

予約で診察を終え、次回の予約票をもらう、そのとき検査が入り、その検査日に検査を終え計算時、同じ予約票がまた渡され、二重三重となる事務の手間、何故同じ予約票を渡されるのか。日付が変わるならともかく、紙、印刷代等医療費の一部に入っていると思うのですが……。なくす人もいる。その時は診察券で本人であると確めているのですから……。予約票のこと、いかがでしょうか。

ご返事

ご意見ありがとうございました。患者さんが次回の診察予約日の前に検査等を行った場合にシステム上、次回の予約日に変更されない限り、再度、予約票が発行されます。平成22年5月に更新する新システムではこのことがないように改善していきたいと思っております。なお、予約票にかかる費用は、当然、医療費には反映されません。ご理解いただきたいと思います。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

5. 窓口関係

先日、入院し10日くらいで土曜日に退院しました。その際、土曜日なので会計が出来ないとのことでした。二度手間になるなあと思いましたが、まあ、仕方ないなあと、すぐの月曜日に来たので、その日の分と入院代をクレジットで支払いましたが、高額医療の説明などがなかったため、自分で調べて手続きしました。退院のときに言ってもらえると親切だなあとと思います。土曜日の会計がないのが、そもそも良くないと思います。改善できることはして下さい。

ご返事

ご意見ありがとうございました。土・日曜日に退院することが金曜日までに確定した患者さんには、極力金曜日に納入通知書兼領収書を発行していますが、再度、医療スタッフ間の連絡を密にして事前に発行できるよう努めます。また、高額医療の説明を積極的にするように心がけておりますが、説明がなかったとのことであり、申し訳なく思っております。今後は、そうしたことがないようにいたします。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

6. 窓口関係

2階の外来7番受付の精算が遅すぎます。7番だけいつも15分～20分位待たされます。診察はスムーズなのに事務手続きが遅いので改善してください。他の窓口はそんなことはないです。

ご返事

ご意見ありがとうございました。2階7番の産婦人科、耳鼻いんこう科の外来では検査結果の説明だけの患者さんや診療時間の短い患者さんが多く、その結果、ブロック受付で精算をお待ちいただくこともあります。そのため、他のブロックよりも事務員を1名増員して対応しておりますが、若干の待ち時間が発生しているのが現状です。今後、病院総合情報システムの更新により外来の患者さんの流れが変わる中、精算などにおいて待ち時間が発生しないよう工夫してまいります。今後とも貴重なご意見お待ちしております。

7. その他

入院案内の冊子に、湯茶の給湯場所や方法と、入浴可能指示後の入浴方法や決まりごとの記載をしてほしい。

ご返事

ご意見ありがとうございました。「入院案内」は手続き、施設等が変更になれば、必要に応じ、適宜変更・追加をしておりますので、ご提言いただいた内容についても検討させていただきたいと思っております。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

8. その他

入院案内では朝食の時間が午前7時30分となっていますが、午前8時30分ごろ運ばれてきます。しかも、片付けが20分くらいできます。食べている時間がありません。

ご返事

ご意見ありがとうございました。ご意見のありました東西4階病棟は記録では通常遅くても午前8時前には配膳されております。下膳が午前9時からですので、少なくとも1時間はお食事の時間はあるものと思われま。しかし、今回これほど遅れてしまったことは当院の不幸に相違ありません。申し訳ありませんでした。今後はこうしたことがないように十分に注意してまいります。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

9. 施設関係

ランドリーコーナーで硬貨が必要になりますが、持ち合わせがない場合に患者は売店まで行って両替することになります。親族はあいにく多忙で、私の代わりに用を足すことがままなりません。すぐにお札をくずせるように両替機を置いていただけるとありがたいのですが。

ご返事

ご意見ありがとうございました。ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。ランドリー設置業者に確認したところ、両替機を設置すると、メンテナンス等にかかる人件費と機器の購入費等が必要になり、コスト面から見て難しいとのことであったため、現金の管理が不要な「院内キャッシュレスカード(テレビカードと同じもの)」が使用できないか提案しておりますが、設置は難しい状況です。申し訳ありませんが、あらかじめ硬貨のご用意をいただければ幸いです。ご理解・ご協力の程よろしく願います。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

10. その他

手術をする時にICUに必要な持ち物が、入院時の説明の時と入院して手術をする前とICU前での説明の時とそれぞれ違うことを言っていたので、ちゃんと統一してほしい。用意する方は混乱してしまいます。

ご返事

ご意見ありがとうございました。手術を受ける不安な時に、異なった説明により混乱をさせてしまい、申し訳ありませんでした。今後、患者さん及びご家族の方々にご負担をかけないように、統一した説明をしていきたいと思っております。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

11. その他

入院して1月と少しになります。原則として何を食べてもよいとのこと。食事のことでどうしても菓物が多く、もやしなどは3回に1回は出てきます。もやしは栄養があると聞きますが多すぎます。どうしても残してしまいます。1食分270円だと思いますが、今はどこも企業努力で250円の弁当まであります。売店のおかずが売れる訳です。もう少し考えて食事を出してください。はっきり言って外で売っている物と比べて270円は高いと思います。いっそうの企業努力をお願いします。

ご返事

ご意見ありがとうございました。当院では厚生労働省の定める「日本人の食事摂取基準」を基に、栄養のバランスを考えながら、献立を作成しております。また、費用につきましては、一般の方には入院時食事療養費として1食につき一律260円を負担していただいておりますが、この金額は国が定めております。今回いただきましたご意見を参考にして、患者さんが満足できる食事を提供できますよう、より一層努力してまいります。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

12. 療養環境関係

面会者をお願いしてほしいことがあります。面会が大勢の場合は面会場所にて話をしてほしい。少人数の場合や患者が床についている場合は、小声で1時間以内に話を終えて帰るよう、よく見える場所に張り紙をするなどしてほしい。病人は痛みを耐えて笑顔で話をしなければいけないし、体も疲れているはずなので見舞いに来た人が気遣ってくれるようにしてほしい。夜中にスリッパでパタパタと足音をたてて歩く人がいますが、気をつけてほしい。病人が床についていても安眠できません。

ご返事

ご意見ありがとうございました。動ける患者さんに関しましては、面会は原則としてデールームで行っていただくようお願いをしております。患者さんがベッドから離れられず、やむを得ず病室内で面会をされる場合は“小さな声で、短時間で”とお願いするようさらに心がけます。張り紙をすべきかどうかについても検討させていただきます。面会者の長時間滞在や声の大きさなど苦痛なことがありましたら、いつでも看護士にお申し付け下さい。今後とも貴重なご意見をお待ちしております。

13. お礼

短期間の入院生活でしたが何かとお世話になりました。ありがとうございました。私は過去に2回の入院生活を余儀なくされましたが、手術は初めての体験で身も凍る思いや不安なことばかりでしたが、担当医並びに担当看護士さん達の温かなご支援により心身ともに安らぎを実感しました。私も含め患者さん達の心は病院側のちょっとした優しい配慮が嬉しいのです。それが病気を間接的にそして精神的に良くしていくことを身を持って体感しました。今後とも患者さん達にちょっとした気配りと真心を込めた接触のほどを心から期待します。本当によい人材の病院であると痛感します。

ご返事

ご意見ありがとうございました。このような感謝のお言葉を戴き、職員にとっては大変励みとなります。『担当医並びに担当看護士さん達の温かなご支援により心身ともに安らぎを実感しました。』というご意見につきましては、我々職員が常日頃から目指してきたことが患者さんに伝わったものと、大変嬉しく思っております。今後もこのようなご意見をいただけるよう頑張ってまいります。どうもありがとうございました。

「ご意見箱」から「提案箱」に変わります。

ご意見箱は、病院を利用された方々の生の声をお聞かせいただくなかで、良い意見を病院の運営に活かし、より良い病院にしていこうというもので、個別に回答をすることを想定したものではありません。しかしながら、“回答を希望したい”“連絡先を書いても返事がない”などの意見もありましたことから、趣旨がわかりやすいよう「提案箱」と名称を変更し、病院運営に活かしてまいりますので、ご理解をお願いいたします。もちろん、今までどおり全てに目を通させていただきますので、ご提案をよろしくお願いたします。

あ と が き

豊橋市民病院 院長 岡村正造



全国津々浦々で花の便りもしきりのこのごろ、新たな年度の始まりを迎え皆様にはいかがお過ごしでしょうか。年度末をもってそれまでの職場や学校などを去り胸躍らせて新たな環境に飛翔する方々もいれば、4月1日から多くの新たな仲間たちを迎え胸を弾ませている方々も多いのではないのでしょうか。当院でも多くの職員とお別れしなくてはならないのは寂しいですが、一方ではより多くの新たな職員を迎えることができそうです。さっそく皆様に紹介したいところですが、4月に赴任される職員の紹介は次号に譲り、本号では今年1月と2月にお迎えした先生方を紹介させていただきました。4月から新たに開設する移植外科専門の長坂医師、麻酔科の充実には欠かせない中島医師、一般外科のさらなる充実を願っての平田医師、小児外科復活の願いを込めた横田医師、さらに産婦人科、小児科にとって貴重な人材である濱野医師、佐々木医師です。

さらに、本号では私どもが地域の皆様とのより良いパートナーシップを築くために約2年間をかけて計画してきた患者総合支援センターについても紹介してあります。このセンターは患者さん方の医療にかかわる諸問題、高額医療となった時の社会福祉制度、

転院先、退院後の生活に関する問題、がんや難病などに伴う心配ごと、女性医療に関する相談、セカンドオピニオンなど多岐にわたって患者さんと一緒になって解決を図っていくための施設です。また、医療情報を患者さんご家族の方々が気軽に検索できるインターネット環境も用意しておりますので医療情報を入手したいときは是非立ち寄ってご利用ください。

ところで、5月の連休明けから当院では完全な電子カルテシステムに移行します。紙のカルテはなくなり、医師はコンピューターに診察所見と検査や薬の指示、次回診察の予約などの殆んどを手入力し、採血結果のみならず各種画像検査の結果もフィルムではなくコンピューター画面で見ながら診療に当たることになります。電子カルテシステムでは他科での情報を即座に見ることができ、検査や薬の重複が避けられること、カルテやフィルムの管理が不要になり、それらを取り出すための手間と時間が節約できること、いろいろな検査画像を撮影後瞬時に離れた場所で見ることができ、会計処理が同時になされることなど多くのメリットがあります。しかし、医師が新しいコンピューターの操作に習熟し、診察結果やあらゆる指示を速やかに入力するためにはかなりの時間を要するという大きなデメリットがあります。そこで、しばらくは時間当たりの診察予約数を少なくして診察の予約時間を守るよう努力しますが、特に初診の方や重症患者さんの診察にはこれまで以上に時間がかかることが予想され、予約外でそのような方が加わりますと診察予約時間が相当ずれ込む可能性があります。私どもとしては精一杯の努力をしますので、皆様にご迷惑をおかけした際には、何とぞご理解頂きますようお願い申し上げます。

お知らせ

4月1日から市民病院の組織を変更します

医療に関する情報提供の推進への取り組みとして、適切な医療機関の選択と受診を支援する観点から医療法施行令および医療法施行規則が改正され、広告可能な診療科名などの大幅な規制緩和が行われました。

これに伴い市民病院の診療科名などの見直しを行い、右表のとおり変更します。

問合せ先 市民病院管理課 (☎33・6276)

広報とよはし4月1号より抜粋

■診療科の新設・名称変更など

	名称	内容
新設	移植外科	生体腎移植医療など
	感染症内科	感染症医療
	小児科(新生児)	新生児医療センターの業務
	産婦人科(生殖医療)	総合生殖医療センターの業務
	救急科	救命救急センターの業務
名称変更	糖尿病・内分泌内科	内分泌・膠原病内科から変更
	膠原病内科	
	肛門外科	こう門科から変更
	こころのケア科	精神・神経科から変更
	病理診断科	臨床病理科から変更
	周産期母子医療センター	周産期医療センターから変更
手術センター	中央手術室から変更	

■センターの新設

名称	内容
口唇口蓋裂センター	口唇口蓋裂医療
患者総合支援センター	患者さんの転院調整、地域医療機関との患者さんの相互紹介業務、がん・女性・医療福祉相談、医療情報提供コーナー

お知らせ

ボランティア募集

ボランティアグループ「ブルーバンブー」に参加しませんか!

豊橋市民病院ボランティアグループ「ブルーバンブー」では、車椅子の乗り降りや外来受診の受付の介助等を行っていただくボランティアの募集を行っています。

- 1 活動場所
豊橋市民病院 正面玄関及び外来ホール
- 2 活動内容
・車椅子使用の患者さんの援助
・診察申込書、問診表の代筆援助
・患者さんの案内
- 3 活動日時
平日(午前8時30分～午前11時30分)
ただし、年末年始(12月29日～1月3日)は除く。



車椅子介助の様子

催し物の募集

豊橋市民病院では診療棟1階にある3階まで吹き抜けの明るいアトリウム等を利用して音楽会や生け花の展示等の催しを開催し、患者さんの心の癒しとなっています。

問合せ先 管理課 庶務担当 33-6276



音楽会の様子

豊橋市民病院の理念

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

豊橋市民病院の基本方針

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます。

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。
豊橋市民病院インターネットホームページアドレス
<http://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp>

